

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

2019 年度

法人名	長野県高齢者生活協同組合	代表者	田中 夏子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならないしない」をスローガンに、誰もが安心して暮らせる地域を作る協同組合です。みんなの家下條は、一人ひとりと手と心をつなぎ想いを大切にす る介護を目指しています。それぞれのできることやりたいことを中心に、その人らしい生活を送る為の支援を行います。
事業所名	みんなの家下條	管理者	井澤 佐貴子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	2 人	1 人	5 人	人	人	3 人	人	12 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・より具体的な目標設定と、定期的な振りかえりを行う。 ・計画・実践・振り返り・改善が日々の業務の中で行える様に、会議やミーティングの在り方を工夫する。	・会議やミーティングの工夫が行われていることが分かった。 ・報告を聞くだけだが、一生懸命業務に向き合っていることが分かった。 ・具体的に計画が立てられている。ただ、同じ様な計画になっても仕方ない。計画そのものより、積みかさねが大切。	・たくさんの職員が関わっていることに驚いた。 ・高い専門性が必要な仕事であり、常に学習の繰り返しが大切だと分かった。 ・毎日の業務の合間にたいへんだと思う。もっと簡素化すべき。 ・説明のあったPDCAの大切さが理解できた。	・事業所の到達点と引き続きの改善点を明確にし、より具体的な対策を立案します。 ・多くの立ち位置の違う方の意見を聞くため、会議運営の工夫やアンケートなどの活用を行います。
B. 事業所のしつらえ・環境	・行ってみたい、通ってみたいと思える様な外観づくり。（花植え、掲示板の活用等） ・施設らしくない、家庭的な雰囲気づくりを心がける。	・いつ来ても清潔に保たれている。清掃が行き届いている。 ・玄関にいつも花があり。介護施設には見えないのがいい。 ・利用者の作品などが飾ってあり楽しそうな様子が伝わります。	・幹線道路沿いなので車の音が気になる。 ・駐車場から事業所への横断が危険。 ・玄関から直ぐに道路があるので、引き続き安全には注意を払ってほしい。	・日々の清掃と合わせ、感染症対策としての換気や消毒も確実に実施します。 ・気軽に立ち寄れる雰囲気づくり（植栽や清掃等）を引き続き行います。 ・図書館（分館）の活用や誰もが参加できる行事の企画を行います。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の行事の参加は職員中心ではなく、利用者さんも関われる様な仕掛けを工夫していきたい。 ・小さな図書館（常設）や学習会（行事）を開催することで、立ち寄っていただ	・積極的に地域とのつながりを持つとうとする姿がみえる。地域にとっても嬉しい関係。 ・活躍する場を探しているシニア世代の人も多い。積極的にアプローチすると喜んで協力してもらえる。	・職員は皆さん親切だとの評判を聞くことが増えた。 ・必要になって初めて興味がわくもの。しかし、地域にこんな事業があると安心感につながるのので有りがたい。 ・介護に関しては行政（包括）に相	・より事業所を身近に感じてもらうために、当事業所を使つての行事や学習会の企画を検討します。 ・地域向けの広報紙の充実を図り、積極的に情報の提供を行います。

	くきっかけづくりを行う。	・若い世代にも訪れて欲しい場所。職場体験以外のボランティアを募るといいのでは。	談する流れが出来ている。でも実際の環境や過ごし方は来てみないと分からない。介護認定前の人にも体験利用してもらう機会があると先々の役に立つと思う	・介護相談（よろず相談）会を開催します。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取り組み	・利用者さんが村の住人であることを再認識できる様に、外出レクや行事参加を企画します。 ・二次予防事業やサロン活動参加者へ個別訪問を実施し、困りごとの把握とお役立ちを目指します。	・職員は地域行事に参加している様ですが、利用者も一緒に参加させてあげると喜ばれると思います。大変だと思いますが検討してください。 ・サロン活動（歌の会）を通じて村民との交流が出来ているのは素晴らしい。もっと交流の輪が広がるといい。	・感染症の影響で外出する機会が減っていると思います。平時の状態に戻ったらしっかり外に連れ出してあげてください。 ・二次予防やサロン利用者から介護保険利用につながる人がいるとこのことを知り、お互いにとっての有益な取り組みだと思った。もっと宣伝してほしい。	保育所（交流会）や中学生（職場体験）との連携を引き続き行い、若い世代の人たちにも身近に感じてもらえることを目指します。 ・見学会や体験利用を企画し、より身近な存在となれる様に努めます。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・村内全域の民生委員さんとの連携が図れる様に、運営推進会議や家族会の工夫を行います。	・資料や写真があるので分かりやすい。利用者が楽しく過ごされている様子が想像できます。 ・事業所中心の情報共有になっているので、もっと地域のことも話し合う機会が必要かも。 ・民生委員の参加が増えたので意見も多く聞ける様になった。	・介護保険サービスを利用する人だけの施設では無いこと知った。合わせて、益々たいへんな仕事だと思いました。 ・感染症の影響で家族会は中止になったと聞いたが、アンケートなどで意見・要望を聞いても良かったのではないかな。	・より多くの方に声をいただくため、民生委員や介護職員の参加を広げていきます。 ・報告会議にならない様に、毎回テーマを設けながらの進行を行い、意見・要望が出しやすい仕掛けづくりを行います。 ・事業所情報だけでなく、色々な情報提供ができる様に努めていきます。
F. 事業所の 防災・災害対策	・事業所近隣の方への協力要請を再度実施する。 ・より具体的な事例を想定しての避難訓練を実施する。 ・事業所内の環境整備を再度徹底する。	・年々災害（大雨）が増えてきた。東南海地震も心配である。備えあれば…の通り、ひき続き訓練をしていただきたい。 ・玄関や廊下（避難路）に障害物が無く整理されている。しっかり意識を持たれていることが分かります。	・村は傾斜地が多く、危険地域に指定されているところも多い。利用者宅の安全環境が把握されていると聞き安心した。 ・火災のときはスプリンクラーが機能すれば安心だが、地震のときは職員頼みになる。日頃からの防災意識を高めてほしい。 ・災害時の備蓄は大丈夫か？行政の援助も確認しておく必要がある。	・消防計画の見直し及び職員全員での再確認を行います。 ・定例の防火（防災）訓練では、引き続き具体的な状況設定をもとにした訓練を実施します。 ・当事業所だけでなく、利用者さん宅の環境把握も行い、災害発生時のサービス利用の在り方も想定します。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	9		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		3
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	9		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	9		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・改めてたいへんな仕事であることが認識できた。
- ・たくさんの職員が関わっていることに驚いた。
- ・高い専門性が必要な仕事であり、常に学習の繰り返しが大切だと分かった。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・会議やミーティングの工夫が行われていることが分かった。
- ・報告を聞くだけだが、一生懸命業務に向き合っていることが分かった。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・具体的に計画が立てられている。ただ、同じ様な計画になっても仕方ない。計画そのものより、積みかさねが大切。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・計画を立てるだけでもたいへんではないか。もっと要点を絞った方がいいと思う。
- ・毎日の業務の合間にたいへんだと思う。もっと簡素化すべき。
- ・説明のあったPDCAの大切さが理解できた。

【改善計画】※後日記入

- ・事業所の到達点と引き続きの改善点を明確にし、より具体的な対策を立案します。
- ・多くの立ち位置の違う方の意見を聞くため、会議運営の工夫やアンケートなどの活用を行います。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	9		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	9		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	9		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	5		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・いつ来ても清潔に保たれている。清掃が行き届いている。
- ・幹線道路沿いなので車の音が気になる。
- ・駐車場から事業所への横断が危険。

【前回の改善計画】

- ・行ってみたい、通ってみたいと思える様な外観づくり。(花植え、掲示板の活用等)
- ・施設らしくない、家庭的な雰囲気づくりを心がける。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・玄関にいつも花がある。介護施設には見えないところがいい。
- ・キレイな花につい目が行ってします。事業所の前を通るのが楽しみ。
- ・利用者の作品などが飾ってあり楽しそうな様子が伝わります。
- ・玄関から直ぐに道路があるので、引き続き安全には注意を払ってほしい。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・日々の清掃と合わせ、感染症対策としての換気や消毒も確実に実施します。
- ・気軽に立ち寄れる雰囲気づくり（植栽や清掃等）を引き続き行います。
- ・図書館（分館）の活用や誰もが参加できる行事の企画を行います。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	職員はあいさつできていますか？	9		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	1	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	5	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・職員は皆さん親切だとの評判を聞くことが増えた。
- ・事業所の名前は広く知れ渡ったと思う。
- ・必要になって初めて興味がわくもの。しかし、地域にこんな事業があると安心感につながるもので有りがたい。

【前回の改善計画】

- ・地域の行事の参加は職員中心では無く、利用者さんも関われる様な仕掛けを工夫していきたい。
- ・小さな図書館（常設）や学習会（行事）を開催することで、立ち寄っていただくきっかけづくりを行う。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・積極的に地域とのつながりを持とうとする姿がみえる。地域にとっても嬉しい関係。
- ・活躍する場を探しているシニア世代の人も多い。積極的にアプローチすると喜んで協力してもらえる。
- ・若い世代にも訪れて欲しい場所。職場体験以外のボランティアを募るといいのでは。
- ・介護に関しては行政（包括）に相談する流れが出来ている。でも実際の環境や過ごし方は来てみないと分からない。介護認定前の人にも体験利用してもらう機会があると先々の役に立つと思う。

【改善計画】※後日記入

- ・より事業所を身近に感じてもらうために、当事業所を使つての行事や学習会の企画を検討します。
- ・地域向けの広報紙の充実を図り、積極的に情報の提供を行います。
- ・介護相談（よろず相談）会を開催します。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	8		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2		6
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5		3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2		6

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・感染症の影響で外出する機会が減っていると思います。平時の状態に戻ったらしっかり外に連れ出してあげてください。
- ・毎日の様子は分かりにくいですが、地域の評判は悪く無い様です。
- ・職員は地域行事に参加している様ですが、利用者も一緒に参加させてあげると喜ばれると思います。大変だと思いますが検討してください。

【前回の改善計画】

- ・利用者さんが村の住人であることを再認識できる様に、外出レクや行事参加を企画します。
- ・二次予防事業やサロン活動参加者へ個別訪問を実施し、困りごとの把握とお役立ちを目指します。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・サロン活動（歌の会）を通じて村民との交流が出来ているのは素晴らしい。もっと交流の輪が広がるといい。
- ・二次予防やサロン利用者から介護保険利用につながる人がいるのを知り、お互いにとっての有益な取り組みだと思った。もっと宣伝してほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・保育所（交流会）や中学生（職場体験）との連携を引き続き行い、若い世代の人たちにも身近に感じてもらえることを目指します。
- ・見学会や体験利用を企画し、より身近な存在となれる様に努めます。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5		4
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	9		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・資料や写真があるので分かりやすい。利用者が楽しく過ごされている様子がよく想像できます。
- ・介護保険サービスを利用する人だけの施設では無いこと知った。合わせて、益々たいへんな仕事だと思いました。
- ・事業所中心の情報共有になっているので、もっと地域のことも話し合う機会が必要かも。
- ・ただ、日々業務でたいへんな事業所に求めすぎるのも可哀想だと思う。

【前回の改善計画】

- ・村内全域の民生委員さんとの連携が図れる様に、運営推進会議や家族会の工夫を行います。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・民生委員の参加が増えたので、意見も多く聞ける様になった。
- ・参加者は増えて来たが、顔ぶれは固定化されてきた。もっと色々な人に関心をもっていたきたい。
- ・感染症の影響で家族会は中止になったと聞いたが、アンケートなどで意見・要望を聞いても良かったのではないかな。

【改善計画】※後日記入

- ・より多くの方に声をいただくため、民生委員や介護職員の参加を広げていきます。
- ・報告会議にならない様に、毎回テーマを設けながらの進行を行い、意見・要望が出しやすい仕掛けづくりを行います。
- ・事業所情報だけでなく、色々な情報提供ができる様に努めていきます。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	1	4
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2		6
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		5	4
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	9		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・年々災害（大雨）が増えてきた。東南海地震も心配である。備えあれば…の通り、ひき続き訓練をしていただきたい。
- ・村は傾斜地が多く、危険地域に指定されているところも多い。利用者宅の安全環境が把握されていると聞き安心した。

【前回の改善計画】

- ・事業所近隣の方への協力要請を再度実施する。
- ・より具体的な事例を想定しての避難訓練を実施する。
- ・事業所内の環境整備を再度徹底する。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・玄関や廊下（避難路）に障害物が無く整理されている。しっかり意識を持たれていることが分かります。
- ・火災のときはスプリンクラーが機能すれば安心だが、地震のときは職員さん頼みになる。日頃からの防災意識を高めてほしい。
- ・災害時の備蓄は大丈夫なのか？行政からの援助も確認しておく必要がある。

【改善計画】※後日記入

- ・消防計画の見直し及び職員全員での再確認を行います。
- ・定例の防火（防災）訓練では、引き続き具体的な状況設定をもとにした訓練を実施します。
- ・当事業所だけでなく、利用者さん宅の環境把握も行い、災害発生時のサービス利用の在り方も想定します。